

今しか聞けない！

第 11 回神奈川証言集会

〈日時〉 9月25日（日） 13時30分開会（13時10分開場）

〈場所〉 かながわ県民センター301（横浜駅から徒歩5分：下欄地図参照）

証言：「帰国した戦犯の55年」（撫順戦犯管理所から帰国55年）

証言者：絵鳩毅さん（98才：中国帰還者連絡会会員）

解説者：石田隆至さん・張宏波さん（大学教員）

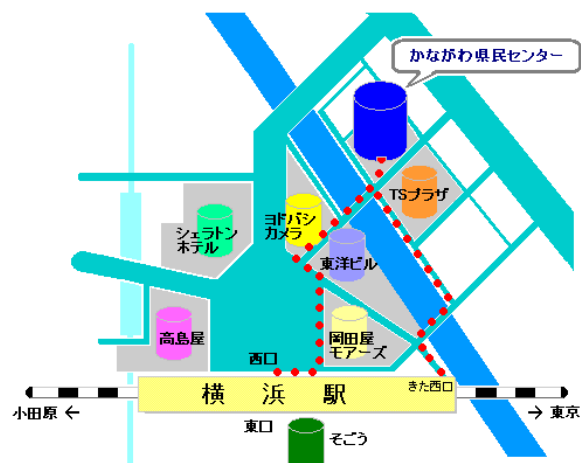
98才の絵鳩毅さんは、5年間の軍隊生活の内4年間中国での戦争を体験し、北朝鮮で敗戦を迎えました。その後、シベリアで5年間抑留され、さらに中国に移管されて撫順戦犯管理所に6年間収容されました。

今回は、「帰国した戦犯の55年」と題して、はじめて帰国後の55年間のお話をさせていただきます。（裏面参照）

資料代 500円（学生は無料です）

*高齢の証言者の体調の事情によってはビデオ証言とさせていただく場合もあります。

〈主催〉 撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部（連絡先 松山 Tel. 046-871-4263）



絵鳩毅さん 98 才

今なお、かくしゃくとして！

絵鳩毅さんは、90 才を過ぎて、95 才を過ぎて、98 才を迎えられている現在も、毎年何回も私たちの前で、証言活動を行ってくださっています。

今年も 3 月 13 日に今回と同じ「帰国後の後半生を語る」の表題で、絵鳩さんの証言集会を計画したのですが、直前に発生した大震災のために中止となりました。

あまりにもの大災害のために、証言集会の再開には時間が必要でした。それでもなんとか 7 月 24 日に第 10 回証言集会を開催することができました。

そこでは、関東大震災を体験された絵鳩さんには「東日本大震災の復興に望む」～前車の轍を踏むなかれ～（ビデオ出演）と題して講演していただいたことは皆さんにもお知らせしたとおりです。（本集会の模様、絵鳩さんの講演は <http://kanagawa.uketugu.org/>）

大震災の影響で、計画から半年遅れとなりましたが、3 月に計画した絵鳩さんの証言集会を再開します。

絵鳩さんご自身の戦争体験の中で、自らが体験してきた戦争犯罪の事実を見つめ、その真実の核心部分を語る時、いつも絵鳩さんは声を詰まらせながら、しぼり出すようにお話ししてくださいます。これほど苦痛を伴うことを、あえて承知で話して下さる絵鳩さんの姿勢にはいつも頭が下がります。

今年の初め、震災前に何回か集会の打ち合わせを兼ねて、絵鳩さんからお話しを聞く機会がありました。その際にこんなことを話していただきました。

「最近、いつの機会にも皆さんが僕の話真剣に聞いてくださっている、僕にとっての長い人生の中で、今はたいへん充実しているのです」と。

絵鳩さんには、まだまだ聞いておかななくてはならないことは山ほどありますが、今回は表題のとおり「帰国した戦犯の 55 年」（撫順戦犯管理所から帰国 55 年）と題して語っていただきます。

絵鳩さんは常々仰っています。「中国での侵略戦争に参加したこと、そして中国人民を蹂躪してきたことの真の反省を示すのは帰国後の生き方だよ」と。

1956 年（昭和 31 年）9 月 5 日、絵鳩さんたちを乗せた帰国船興安丸が舞鶴港に到着した。15 年ぶりに祖国の土を踏んで絵鳩さんにとっての帰国後の生活がはじまります。

そしてそれから 55 年間に何があったか・・・ぜひ、お聞きください。

冊子「皇軍兵士の 4 年」を発刊

絵鳩さんの手記に基づく冊子、①「撫順戦犯管理所の 6 年」、②「シベリア抑留の 5 年」、に続く第 3 弾「皇軍兵士の 4 年」を発刊します。

第 11 回証言集会会場で発売します。是非お読み下さい。

（当日は①、②も販売します）